

滋賀のイクメン情報誌

MEN'S CARAT Shiga

メンズ・カラット滋賀
創刊号

マンガで見る
男性の育児参画が
「あるとき」
「ないとき」

妻が求める
イクメンレベル
イクメンレベル Check!
パパは何点?

IKUMEN PAPA
3人にインタビュー

日本に住む
外国人パパにインタビュー

イクメンを応援する
県内企業に迫る!

■社会福祉法人 あいの土山福祉会

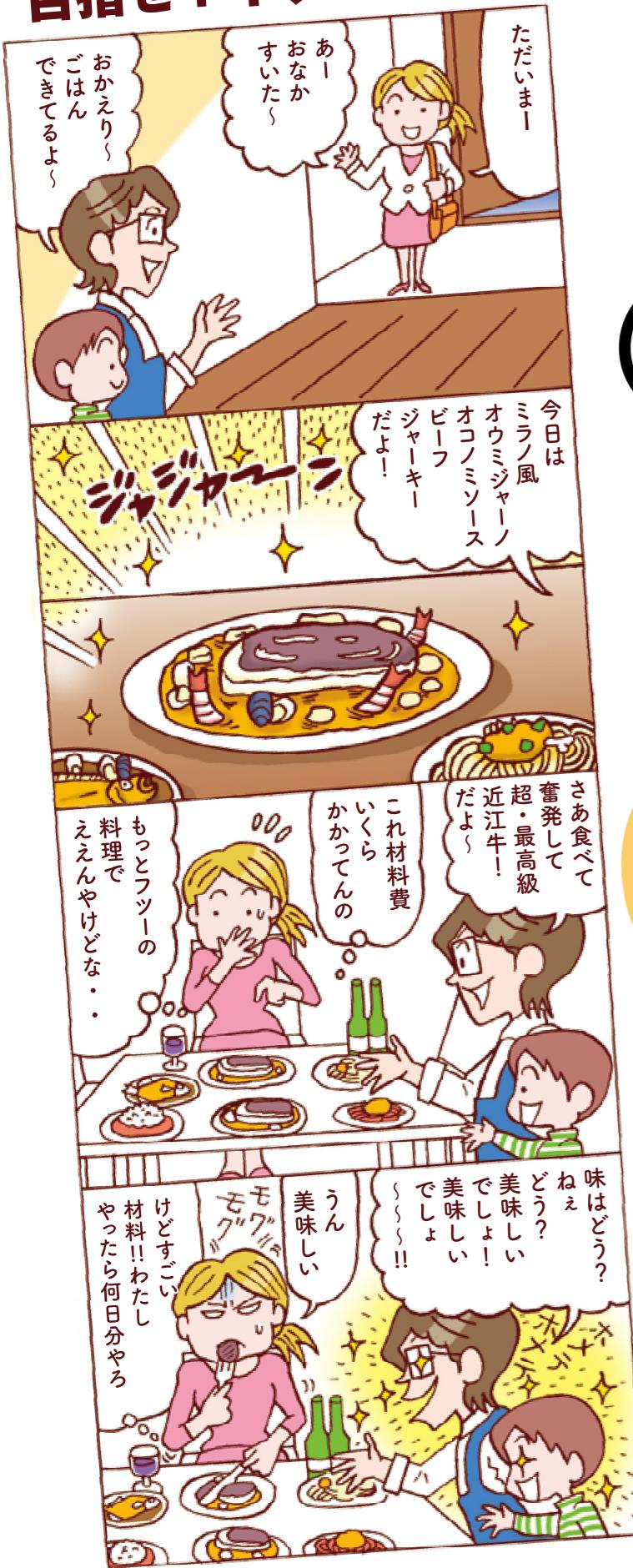
■古河AS 株式会社



イクメンは
日本の救世主

イクメンは
社会を動かす
原動力

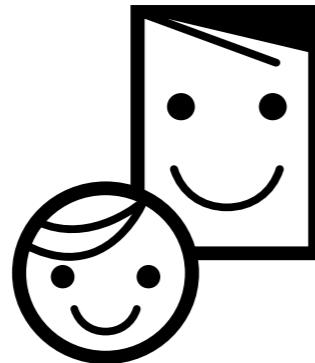
目指せ！イクメンくん



イクメン・カジダンが

家庭を輝かせる。

滋賀を輝かせる。



イクメン
先輩パパの
つぶやき・・・

- 育児や家事は任せろ！
正直、ママが留守の時は不安で仕方がない。
- 育児や家事でほぼ毎日失敗している。
そしてほぼ毎日笑いのネタにしている。
- （私は子どもの着替えのありかがわからぬ）今さら聞けない
- 子どもの趣味がだんだん自分に似てきた。
シメシメ（笑）
- 毎日仕事の帰りが遅かったころ、子どもに「パパ、次はいつ会える？」と言われて心が痛んだ。
そして心を入れ替えた。
- （私は初心者）育児も家事もバッチャリできる人はカッコいいと思う。
- 最近の喜び。洗濯物を畳んでいたら3歳の息子が横に並んでいた。
オムツ交換はオシッコをかけられて一人前だ。
- パパもママも育児のスタートラインは同じだと気づいた。
- 最近、参観日にパパ仲間が増えたきた気がする。
- イクメン・カジダンを自指することは、「自らの働き方」を見つめ直すチャンスでもあります。子育ては一時期しかできないこと。あなたらしく「子育て期」のワーク・ライフ・バランスを設計してください。夫婦で育児に関わることはきっと家族の大きな財産になるはずです。
- イクメン・カジダンは、社会を動かし、滋賀を、日本を元気にする原動力。頑張れ！パパたち！

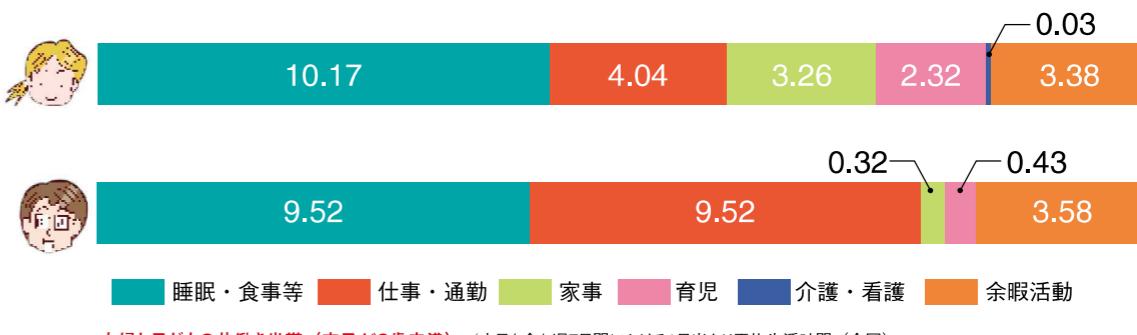
「イクメン」は子育てを積極的に楽しむ男性、「カジダン」は家事に積極的に取り組む男性のこと。仕事も生活もどちらも充実させてどちらも楽しみたい、そんな価値観を持つイクメン・カジダンが増えています。日本では、ママに育児や家事の負担が偏っています。イクメン・カジダンが増え、育児・家事をシェアすることで、ママは仕事や地域活動など自分の希望をかなえることができ、もっともっと個性や能力を発揮することができます。また、家族の経済的、時間的、精神的な余裕ができることで安心して子供を産み育てる環境も作ることができるでしょう。「イクメン・カジダン」が「女性の活躍」を支え、「女性の活躍」により、働き手不足の解消、少子化対策、日本経済の活性化が期待できる—まさにイクメン・カジダンが社会を動かすのです。

子育てを支援する仕組みや制度により、男性も育児休業などが取りやすくなりました。

イクメン・カジダンを自指することは、「自らの働き方」を見つめ直すチャンスでもあります。子育ては一時期しかできないこと。あなたらしく「子育て期」のワーク・ライフ・バランスを設計してください。夫婦で育児に関わることはきっと家族の大きな財産になるはずです。

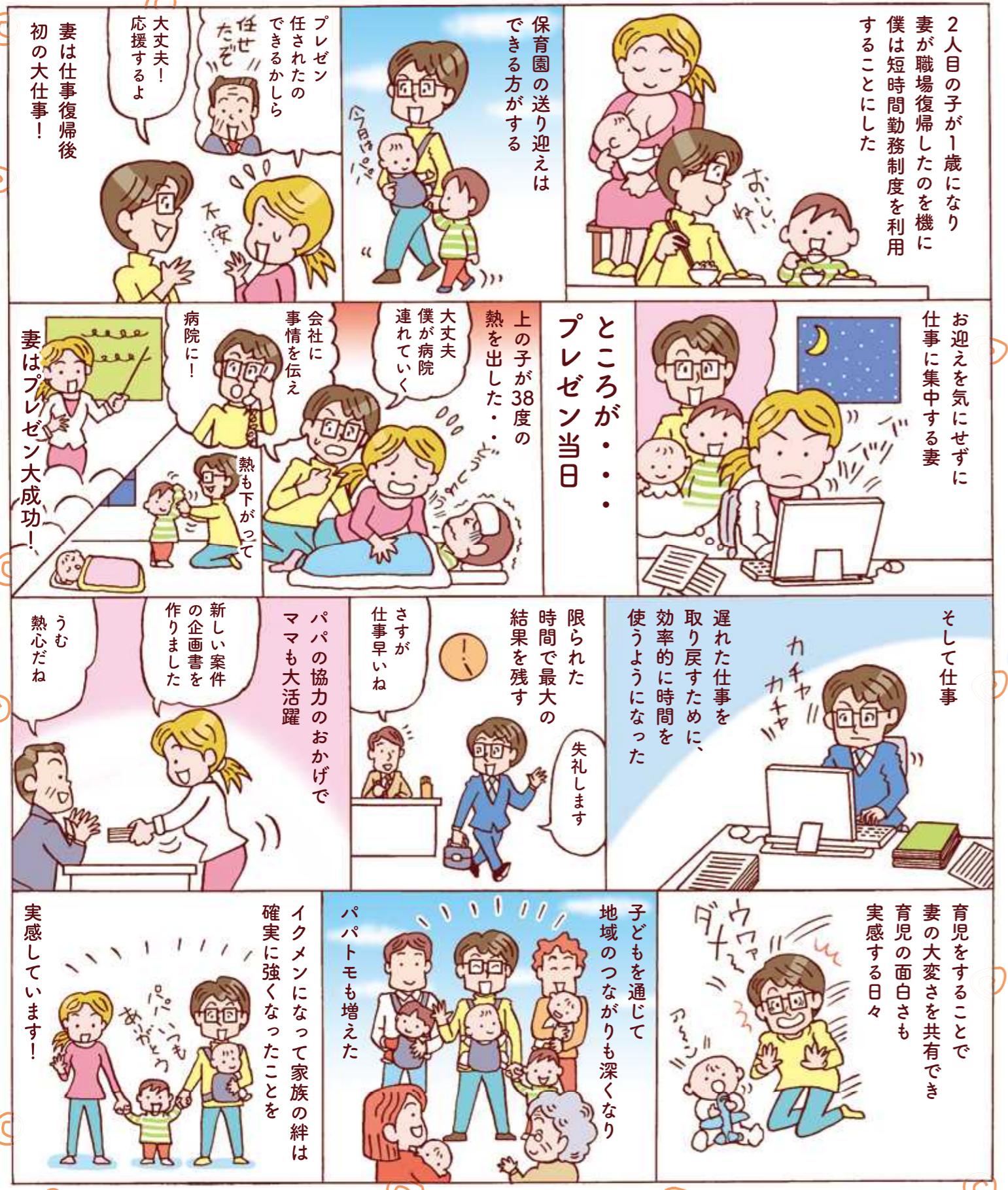
「イクメン」は日本の救世主！

夫婦の1日の生活時間の比較



夫婦と子どもの共働き世帯（末子が6歳未満）／土日を含む週7日間における1日当たり平均生活時間（全国）
資料：平成23年社会生活基本調査結果（総務省統計局）

パパの育児参画が「あるとき」



パパの育児参画が「ないとき」



不利益取扱いの禁止

事業主には、これらの申出、取得等を理由に労働者に不利益な取扱いをすることが禁止されています。また、いわゆるマタハラ・バタハラ等を防止する措置を講じることが義務付けられました。

深夜業の制限

小学校就学前の子を養育する労働者が請求した場合には、事業主は深夜において労働させてはいけません。(例外あり※)

短時間勤務制度

3歳未満の子を養育する労働者に関する限り、事業主は短時間勤務制度を設ける等の措置を講じなければなりません。(例外あり※)

時間外労働の制限

小学校就学前の子を養育する労働者が請求した場合には、事業主は一定の制限時間を超えて時間外労働をさせてはいけません。(例外あり※)

所定外労働の制限

3歳未満の子を養育する労働者が請求した場合には、事業主は残業をさせてはいけません。(例外あり※)

子の看護休暇制度

小学校就学前の子を養育する労働者は、1年に5日(子が2人以上の場合は10日)まで、病気・けがをした子の看護等のために、休暇を取得することができます。

育児休業制度

労働者は、原則として子が1歳に達するまでの間、育児休業を取得することができます。また、父母ともに育児休業を取得する場合、子が1歳2ヶ月に達するまでの間取得することができます。(一定の場合はさらに延長が可能です。)

**両立支援制度で
パパが使える
仕事も育児も!**

知っていますか?



家族構成

- 夫 35歳（会社員）
- 妻 37歳（ケアワーカー）
- 大祐くん 7歳
- 功祐くん 3歳

妻のイクメン診断レベル

85点

100点

50点

0点

家族の声

以前はパート勤務でしたが、近江八幡に来てから正職員として働けるようになりました。仕事の幅が広がり、もっと知識を深めるために学びたい、資格も取得したいと、意欲的に仕事に取り組めるようになったのも、夫が子育てに積極的に協力してくれるお陰だと感謝しています。さんきゅうパパ！



日本に住む外国人パパ Interview



- 上原ジャンカルロさん 33歳（会社員）
- 妻 タイスキ エリカさん 32歳（妊娠中）
- 娘 タイスキ ユメさん 12歳



たまに子育てに熱くなりすぎて、またく叱ってしまうことが…厳しくするつもりはないのですが、わが子のことを思うとつい力が入ってしまうのか、普段は口数が少ないので、叱るとそうとう怖いパパのようです。

近江八幡へＩターン！ 子どもと過ごすイクメンパパ

古い建物の保存や活用に関わる仕事をしたくて、「近江八幡地域おこし協力隊」に応募し、今年、尼崎市から近江八幡市へ移つきました。子どもたちを自然豊かな環境で育てられるのも魅力でした。妻は市内の病院に勤務するケニアーで、3交替制のため夜勤もあります。毎日下の子を保育園に送つてから出勤、夕方、夜勤もあります。保育園と学童保育をまわつて2人の子どもと帰宅します。妻が夜勤の時は、子どもたちに晚ご飯を食べさせて、お風呂に入れ夜勤の時は、子どもたちと一緒に過ごします。買い物や食事の支度は基本的に妻がやってくれますが、時間と一緒に過ごせるわずかな時間で、一緒に過ごせることがあります。

には私が子どもたちの好きな力があります。以前、工務店に勤めていた時は、忙しくて子どもと過ごす時間がなかなか取れませんでしたが、こちらに来てからは、妻より長い時間、子どもと一緒にいる時間が増えて良かつたことになりました。

は、日々、子どもたちの成長を実感できること。「こんなことができるようになつた」と、できることが増えていくのを見るのが楽しみです。子どもはいつもか親から巣立っていくのです。

在住外国人の家庭では、共働きが多く、男性が料理や掃除、洗濯、育児をするのは特

別なことではありません。夫が家事に「協力」

するとか、子育てに「参加」するという感覚

ではなくて、例えば、早く帰つたほうが食事

の支度をするとか、助け合つてやっていくのは

ごく普通のことです。

保育園のような施設や制度は日本ほど充

実していませんが、待機児童の問題などが

ないのは、国や自治体に頼らない国民性のため

自分の家族のことは自分たちでなんとかする

という考えが定着しているからだと思います。

それに、ペルーでは大家族が助け合つて暮

らす伝統が今も残つてるので、祖父母や親

戚、年長の兄弟など、だれかが小さな子供の

面倒を見てくれることが多いんです。インフ

ラが十分じゃない分、人と人の距離が近いと

いうか、困つてゐる人がいると、家族や親戚じ

やなくとも、声をかけたり、手を貸したり

します。

奥さんが働きたいと思うのは、決してお金

のためだけじゃなくて、働くことで一人の女

性として自立した生き方をしたいということ

です。そこをちゃんと理解し、協力していく

姿勢が大切だと思います。

イクメンレベル CHECK



- 産まれた時の体重が言える
- 離乳食を作ることができる
- 子どもの服のサイズが言える
- 子どもの喜ぶ休みの予定を計画する
- 自分はイクメンだ（でありたい）と思う
- うんちのおむつ交換も平気！
- ミルクの適温を知っている
- 泣かれても対処できる
- 待ち受け画面は子ども
- おむつやミルクの底値がわかる
- 子どもたちの流行を知っている
- 仲のいいパパ友がいる
- 「パパパック」でいつでもお出かけ準備はOK!
- ママとは喜びも怒りも話せる
- ママの自由時間を作るようしている
- 症状別にかかりつけ医を知っている
- 子どもの同級生の名前がわかる
- ママに言われる前に体が動く
- 子どもと自分で留守番ができる
- 育児は大変だけど楽しい！

イクメンレベル IKUMEN LEVEL



妻、妊娠！さあイクメン準備！

赤ちゃんが産まれるまでの妊娠期間はイクメンの準備期間。妻に寄り添うことで、パパの自覚を芽生えさせましょう。妊娠初期はリスクの高い大事な時期。ホルモンバランスの変化や出産の不安で、情緒不安定になります。妊娠中期に入り、適度な運動も丈夫。妻のやりたいことを

サポートしてあげましょう。もちろん、重労働は夫の役割。また妊娠中はお酒やコーヒーなどの食事制限があります。食卓

での妻への気遣いを忘れず。妊娠7ヶ月に入る

と胎児はおよそ1キロに成長し、母体を圧迫しま

す。お風呂掃除や洗濯などは積極的に行つてください。妊婦で疲れていても、妻との会話を大切に！



赤ちゃん誕生。いよいよ子育ての始まりです。赤ちゃんは夫婦2人で育てる、という意識を持つて、新しい生活を楽しみましょう。また毎日の家事

や育児、ママの職場復帰など、これから的生活について、夫婦で話し合い

ましょう。パパと一緒に

トがパパの大切な役割。そして職場には出産報告をし、周りの理解を得ながら効率的に働くことを目指しましょう。赤ちゃんがちなママのサポート

ができたことで夫婦の間は強くなります。



16以上 正真正銘イクメン



11~15 まあイクメン



6~10 駆け出しひイクメン



5以下



「ママ大変だね」のひとことで円満！

ママがパパに一番求めているのは、「ママの大変さが理解されること」です。赤ちゃんは24時間、おかまいなしで周りを振り回します。休む暇なくママはクタクタです。ママがイライラしていたら想像ひとことを。ママの心は落ち着きます。またママへの育児を見て覚え、でき

ることはやりましょう。また育児に忙しいママを激励させるのがパパの用事。「あれどこ?」「そ

まいなしで周囲を振り回します。休む暇なくママはクタクタです。ママが力を働かせて「大変だね。僕は何したらいい?」の

ひとことを。ママの心は落ち着きます。妻を輝かせるもので、妻の感謝の気持ちは口に出して。妻を輝かせるのもイクメンの役割です。

イクメンを応援する県内企業に迫る!



男性の育児参画に フォーカス!

品質本部/2006年入社
澤保弘さん
琴海ちゃん(4歳)・
広登くん(2歳)を子育て中

2016年1月に会社の育児休
育ての苦労も喜びも、夫婦で分
かちあうのが当然だからです。
育児デーを満喫。人事総務部から

配偶者も仕事を持ち、各自の実
家から離れて暮らすわが家の
で、当社の先進的な子育て応援
体制は本当にありがたいです
ね。琴海1人を育てていた期間
から、家庭にいる時間はなるべ
く積極的な子育て参加を心掛け、
授乳やおむつ替えなど、できることは何でもしました。子

業規定が変わったお陰で、育休
が取りやすくなりました。特に
ありがたいのは、1日から取得
できる新制度。開発品を評価す
ることになりました。2人目が生ま
れた。そんな気持ちから1日だけ
育休をもらい、心おきなく育

ます。が育つついで、育児参画は
どうの職場で、背中を押されまし
た。背中を押されました。

来る「男性も気兼ねなく育休を
取りましょう」とのメールにも
なり、ボトムアップで取り組んできました(人事総務部の森中春弥代
さん)。その結果、2011年に「くるみん」を初取得。それからもWLB充
実への手を緩めなかったことが「プラチナくるみん」につながりました。

制度の充実だけでなく、制度を生かす配慮を大切に。

車体に動力や情報を伝達するワイヤーハーネス(自動車用組電線)を、国内ほとんどのカーメーカーへ供給する古河AS(株)。クルマの未来を支える技術開発型企業です。ベトナムや中国等に生産拠点を持つグローバル企業でありながら、気さくでアットホームな社風が自慢。2016年、熱心に次世代育成(子育てサポート)に取り組む企業だけが得られる「プラチナくるみん」認定を取得しました。認定企業は県内で2社だけです(2017年1月現在)。

同社の育児休業規定はかなり先進的で、お子さんが3歳になるまで取得できるうえ、1日からでも育休を取れたり、積立有給休暇を使えるため休業中の収入も保証されやすいなど、男性の取得しやすさにフォーカスした配慮が目を引きます。

滋賀県企業の良さを色濃く残す同社。家族同然に助けあう社風のお陰か、かなり以前から結婚や出産を理由に退職する女性はほぼゼロでした。しかし、2007年に親会社・古河電工の一部と統合して従業員数が倍増したのを機に、WLB(ワークライフバランス)の充実があらためて問われるようになり、ボトムアップで取り組んできました(人事総務部の森中春弥代さん)。その結果、2011年に「くるみん」を初取得。それからもWLB充実への手を緩めなかったことが「プラチナくるみん」につながりました。

制度があるだけでは不十分。制度がちゃんと使われてこそ、次世代育成に貢献できる。森中さんたちはそう考え、お子さんが生まれた男性社員へ育休取得を呼びかけるメールを送るなどの「後押し策」を実施。この3年間で対象男性94人のうち14人が育休を取る、高い取得率に結実しています。1時間単位で有給休暇が取れるなど、子育て世代以外へのWLB配慮も充実。これもイクメンを元気づける土壌になっています。「プラチナくるみん」取得は経営陣の意識も変え、WLBを基底に据えた経営ビジョン「働き方改革」の追い風にもなりました。



古河 AS 株式会社

■事業内容 自動車用組電線等の製造
■社員数 1,635名
■男女数 男性1,300名 女性335名
■代表者 代表取締役社長 柴田勝美氏
■所在地 犬上郡甲良町尼子1000

お子さんが3歳になるまで
育児休業を取得できる

1日から取れる育休制度により
仕事とバランスをとりやすい

積立有給休暇を使えるので
休業中も収入が保障される



社会福祉法人 あいの土山福祉会

■事業内容 高齢者福祉事業
■職員数 76名(正規職員)
■男女数 男性28名 女性48名
■代表者 理事長 服部治男氏
■所在地 甲賀市土山町北土山2057

残業ゼロを徹底推進することで
男性の育児参画を促進

余裕のある人員配置により
育児休業の取得がスムーズ

冊子や研修会を通じて
育児分担への意識を促す

「働きやすさ」
優先の職場づくり。



生活相談員/2006年入職
奥村哲弥さん
健之助くん(2歳)を子育て中



就労環境に厳しさがある介護業界だからこそ、当法人が率先してそれを変えていく。なんがなんでも変えてみせる。そんな摇るぎない意気込みがあったからこそ、私たちが安心して、気兼ねなく育児に参画できる現在の環境が整ったのだと思います。長男の健之助が1歳になる直前に1週間ほど育休を取得。1日中育児に向きあう大変さに気づき、それからは積極的に育児参画をしています。家庭生活を大切にしてこそ仕事も充実する。そんな考え方に基づく残業を減らす。そんな環境が厳しい離職率が高いなど、介護事業者が向きあう現実を変えようと、「働きやすさ」を第一に考えた環境づくりを進めてきました。

「人材マネジメント手法が未整備だったため、離職が深刻化した時期があり、2012年に人材確保・労働室というプロジェクトチームを立ち上げて、男女を問わず、働きやすい環境を整えてきました」と廣岡隆之副施設長。めざしたのは残業・腰痛・メンタル不調を撲滅する「トリプルゼロ」で、電動リフトの導入で抱え介助の負担を軽減したり、定時10分前に業務終了予告を行う「マイナス10分運動」等によって残業を撤廃するなど、かなり大胆な改革に挑みました。

ワークライフバランスの充実にも配慮を注ぎ、女性の活躍を促す制度を充実させたほか、研修会やオリジナル編集した「ワークライフバランスの栄」を通じて「仕事優先や固定的な性別役割分担意識の是正」を啓発。これが男性職員の積極的な育児参画につながっています。

「介護現場の特殊事情に、結婚による男性職員の離職率の高さがあり、それを解消する意味でも、男女を問わず仕事と子育てを両立させやすい職域づくりに努めました」と廣岡副施設長。制度があるだけでは不十分と考え、周囲に気兼ねなく男性が育児参画できるよう、少し多めに職員数をそろえる「余裕のある人員配置」も敢行しました。

さらに、介護職員の負担を減らすためのワークシェアを導入。清掃等の業務については介護職員とは別に雇用したお陰で、なにかと働き方に余裕を持てるようになり、残業撤廃との相乗効果で男性の育児参画率は急上昇。「イクメン」をごく自然のことと考える雰囲気が定着しています。

これらの取り組みの結果、離職率は業界の平均を大きく下まわる2%にまで減少。平成28年度内閣府女性が輝く先進企業表彰を受賞しました。



児童参画をしています。家庭生活を大切にしてこそ仕事も充実する。そんな考え方に基づく残業を減らす。そんな環境が厳しい離職率が高いなど、介護事業者が向きあう現実を変えようと、「働きやすさ」を第一に考えた環境づくりを進めてきました。

児童参画をしています。家庭生活を大切にしてこそ仕事も充実する。そんな考え方に基づく残業を減らす。そんな環境が厳しい離職率が高いなど、介護事業者が向きあう現実を変えようと、「働きやすさ」を第一に考えた環境づくりを進めてきました。

食事や入浴が毎晩楽しめ、育児や家事を分担できるのでパートナーも笑顔です。心身ともに余裕を持った環境だから、利用者さんにやさしい「よい介護」に励めます。



一目瞭然!!

十分? 不十分?

ママと一緒に
やってみよう!

STEP1

今やっている育児・家事の項目に色を塗っていきましょう。

週に1日やっている→①マス

2日やっている→②マス

毎日やっている→⑦マス

STEP2

ママに見せてみましょう。



STEP3

ママの希望を聞いてみましょう。



STEP4

目標を定めましょう。



無理はしません。協力して育児・家事を
楽しく分担してくださいね。

やっていない

毎日やっている

毎日の育児・家事編

赤ちゃん編

休日・不定期編

子どもを起こす					
子どもを着替えさせる					
子どもに朝ごはんを食べさせる					
子どもの洗面・歯磨きなどを手伝う					
子どもの持ち物をそろえる					
子どもの連絡ノートに記入する					
子どもを保育園・幼稚園などへ送る					
朝ごはんを作る					
食器を洗って片づける					
洗濯機を回す					
洗濯物を干す					
軽い掃除をする					
ゴミを集めて捨てに行く					
子どもを保育園・幼稚園などへ迎えに行く					
夕ごはんのメニューを考える					
買い物をする					
お風呂を洗う					
洗濯物を取り込む					
洗濯物をたたむ					
洗濯物を片づける					
アイロンをかける					
夕ごはんを作る					
子どもに夕ごはんを食べさせる					
食器を洗って片づける					
子どもをお風呂に入れる					
子どもを着替えさせる					
子どもの歯磨きを手伝う					
子どもと遊ぶ					
子どもを寝かしつける					
ミルクを作る					
ミルクを飲ませる					
ほ乳瓶を消毒する					
おむつを替える（おしっこ）					
おむつを替える（うんち）					
夜泣きに対応					

自分がやっている割合に応じて色を塗りましょう。 0% 50% 100%

子どもの爪切りや耳掃除をする					
子どもの持ち物に名前を記入する					
子どものアルバムを整理する					
子どもをお医者さんに連れて行く					
子どもを予防接種に連れて行く					
ふとん干しをする					
まとまった掃除をする					
庭の草むしりをする					
レンジフードを掃除する					
お出かけの時に車を運転する					
自治会活動に参加する					
保育園や幼稚園などの行事に参加する					
	空いているところは、思いつくまま、 自由に項目を追加してください！				

お問い合わせ 滋賀県商工観光労働部女性活躍推進課

HP <http://www.pref.shiga.lg.jp/c/danjo/>

※本冊子に掲載している内容は、平成29年(2017年)1月現在のものです。また、年齢は取材時のものです。

〒520-8577

滋賀県大津市京町四丁目 1-1

TEL.077-528-3770

FAX.077-528-4807